学校通信

中　神

令和５年５月３１日
昭島市立中神小学校
校長　松井　茂

「ありがとう」から始まる社会性

イギリスの「わらべうた」にこんな歌があります。

いりぐち
心は いりぐちと おなじです
かんたんにすうっと あくのです
ちっちゃな ちっちゃな かぎでね
わすれちゃいけません その中に
ふたつのかぎがあるのです
「ありがとう」と「さあ　どうぞ」
（イギリスのわらべうた
木島　始　訳）

子どもが言葉を覚え始め、人と関わりをもつようになった頃、お母さんが最初に教える言葉は、この「ありがとう」ではないでしょうか。

・おもちゃを貸してくれて「ありがとう」
・お菓子を分けてくれて「ありがとう」など

家から一歩外に踏み出せば、人と関わる世界が広がっています。子どもが外に出て、家族以外の人と関わることは社会性を育てる上でとても大切です。相手が自分に向ける気持ちや行為を受け取り、それに対して感謝する。その心が「ありがとう」です。肌身離さず、ちっちゃな鍵を持ち歩かせたいものですね。

社会性の基本は、基本的生活習慣の見直しも大切です。「ありがとう」も「おはようございます」も、挨拶は人々が互いの気持ちを思いやる心からできた言葉です。人と人との心のつながりを実感し、今日の生活の活力を生み出します。

そして、社会性を深めていく大切な行動でもあります。人と人との関わりの中で育つ「オアシスの挨拶（オ：おはようございます、ア：ありがとうございます、シ：失礼します、ス：すみません）」を中神小では大切にしています。

４年生の社会科見学、２年生の遠足、５年生の八ヶ岳移動教室と引率で一緒に子どもたちと行きました。駅員の方、施設やバスの運転手の方など自分たちと関わってくださる方々にしっかりと挨拶ができていました。また、お世話になった感謝の気持ちを込めて「ありがとうございました」とも伝えていました。どこでも、この子どもたちの挨拶を受けて、「こちらも優しい気持ちになります」「やって良かったなと思えます」などと言葉をいただきました。校内だけでなく、校外へ出た時も自分からすすんで挨拶できていることに嬉しくなります。

～スクールゾーン車両通行自粛呼びかけ重点運動へのご協力ありがとうございました～

５月８日（月）～12 日（金）は保護者の方、５月 15 日（月）～19 日（金）は、地域の方のご協力をいただき、実施することができました。おかげで、スクールゾーンへの車両の乗り入れは減少していきました。これもひとえに保護者、地域の皆様のおかげと感謝申し上げます。